令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	公園維持管理事業	担当課	建設課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	昭和57年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	任意的事務
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-080402-05 単独	根拠法令・条例等	都市公園法，守谷市都市公園条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民が緑豊かでレクリエーションやスポーツの場として利用することができるようにするため。	公園内の植栽管理の委託，および，施設を適切な状況で利用できるように，維持・管理する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
宅地開発等により整備された公園内の施設や植栽等を適切に維持管理し，市民の憩いの場として，いつでも安心して楽しく利用できるよう維持管理を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
年々上昇する維持管理費。 樹木の生長による剪定要望の増加。	通年での作業進捗と計画の見直し。 令和元年度末に入札を行い，令和2年4月1日から管理作業を行う。 剪定ローテーション計画の見直し作成。（令和2年8月頃を目標）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
市内を13工区（地区毎）に分けて公園・街路樹を管理し，長期契約（3年間）を行うことにより安定した管理作業（工程）と経費削減を行う。 ローテーション形式による剪定を行い，平等な剪定対応と景観の維持をする。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☒ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	令和2年度にあつては，4年に1度実施しているふれあい道路の樹木剪定による増加。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
事故件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
遊具修繕数（箇所）	34.00	24.00	43.00	43.00	43.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	公園管理工の維持管理費用が年々増加する中、3カ年での契約及び剪定や伐採の選別をすることで費用を縮小させつつ、安心できる公園管理をした。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	公園内清掃委託・公園植栽管理業務共に、3カ年契約を実施していき、継続的に管理していくことで安心して利用できる公園にしていく。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	390,831	389,559	418,313	550,818	550,818
	国・県支出金	6,392	6,550	6,788	6,663	6,663
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	384,439	179,475	139,339	11,013	11,013
	一般財源	0	203,534	272,186	533,142	533,142
正職員人工数（時間数）		3,515.00	2,024.00	2,164.00	0.00	0.00
正職員人件費		14,412	8,450	8,879	0	0
トータルコスト		405,243	398,009	427,192	550,818	550,818

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	公園施設改修事業	担当課	建設課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成20年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	任意的事務
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理	市民協働	
予算科目コード	01-080402-06 補助	根拠法令・条例等	守谷市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民が、安全・安心に公園施設を利用できるように、公園施設を対象に、平成24年度に守谷市公園施設長寿命化計画を作成している。	老朽化した公園施設を効果的に修繕・更新を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
平成25年度から老朽化した公園施設の改修を計画的に実施し、市民が安全で快適に利用できる公園にする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
<ul style="list-style-type: none"> 公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。 利用者の利便性及び安全性の向上を図る。 	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化計画策定から7年経過により見直しが必要。 補助対象以外も含め、バリアフリー化率100%を実現するための、整備計画の検討が必要。 	<p>令和2年5月 長寿命化計画の現況調査見直し業務</p> <p>令和3年5月 長寿命化計画策定見直し業務</p> <p>令和2年6月 バリアフリー化整備検討作成</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化計画の見直しを行う。 バリアフリー化整備計画策定。 	

次年度のコストの方向性（→その理由）

☐ 増加 ☐ 維持 ☒ 削減	大規模補修箇所数が減ったため。
--	-----------------

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
守谷市公園施設長寿命化計画により、公園改修工事等を行い、安全・安心に利用できる公園にしていく。	守谷市公園施設長寿命化計画により、けやき台公園の園路と公園灯、板戸井公園の公園灯の改修工事を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
改修率＝改修施設数÷計画施設数（10施設）（％）	0.00	60.00	90.00	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	計画的な公園改修により、安全・安心に利用できる公園の維持・向上がされた。今後も、守谷市公園施設長寿命化計画により、公園改修工事等を実施し、安全性の向上をしていく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	公園施設の点検等を踏まえ、定期的に守谷市公園施設長寿命化計画を見直し、公園改修等を計画的に行い、安全・安心に利用できる公園にしていく。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	32,364	23,395	37,996	29,704	11,000
	国・県支出金	10,000	11,000	20,762	9,350	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	22,364	12,395	17,234	20,354	11,000
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		52.00	29.00	599.00	0.00	0.00
正職員人件費		213	121	2,458	0	0
トータルコスト		32,577	23,516	40,454	29,704	11,000

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	公園まちづくり団体助成事業	担当課	建設課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成17年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	法定+任意
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-080402-07 単独	根拠法令・条例等	守谷市公園等維持管理団体助成金交付要綱 守谷市公園等里親事業実施要項	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市と市民のパートナーシップにより、協働のまちづくりの推進を図るため、平成14年度に守谷市公園等里親事業実施要綱及び平成17年度に守谷市公園等維持管理団体助成金交付要綱を定めた。	公園等維持管理団体助成事業は、公園等の維持管理を行う参加団体に助成し、年間を通し公園等を良好に管理してもらう。 公園等里親事業は、公園や植樹樹等の里親団体に、花苗や用品及び用具の提供等必要な支援を行い、環境美化や緑化の推進をしてもらう。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民や団体等による年間を通じた公園等の管理及び緑化について協働のまちづくりを推進する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷市の玄関口である守谷駅の植樹樹や開通した坂町清水線等を重点箇所とし公園等里親において草花の植栽をしている。里親がいない植樹樹がまだあるので、里親の活動の拡充を図り、協働による魅力あるまちづくりを推進していく必要がある。	公園等里親事業 表彰・情報共有・団体間交流の場の提供（代表者会議）…随時 団体への参加依頼（勧誘）…随時 広報等による募集…随時 花苗等の配付…随時
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
駅前の企業や店舗等に、今後も公園等里親の活動の趣旨と内容を周知し、多くの団体の参加を得る。 また、国体開催に合わせ守谷駅前を花いっぱいにしたので、これをきっかけにして、団体の絆を強め、活動場所と団体数を増やしていく。 一部の団体は種から育てているので、経費削減のためにも団体間で交流を持たせ、花苗のやりとりができるようにする。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	国体開催に合わせ実施した花苗等配付分の削減はするが、活動団体の増加を図るため。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
公園等里親事業と公園等維持管理団体助成事業の周知とPRを行うことにより、団体数を増やし協働のまちづくりを拡充し、緑化推進を図っていく。	昨年度に、公園等里親の活動の趣旨と内容を周知して周り、多くの団体の参加を得ることができた。（公園等里親団体71団体） また、国体開催に合わせ守谷駅前を花いっぱいにする計画を昨年度行い、代表者会議の中で協力していただくよう呼びかけたところ、今年度は守谷駅前の花壇を中心に、団体に統一した花植えを行っていただいた。これをきっかけにして、団体の絆が強まり、次年度以降もこういったイベント的な呼びかけを行ってほしいとの意見も団体の方からいただいた。公園等里親事業に関するアンケート調査を登録団体をお願いしたので、結果を集計し今後の事業のために役立てたい。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
参加団体数（件）	15.00	17.00	17.00	18.00	20.00
里親団体数（件）	52.00	71.00	71.00	70.00	70.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	新しく登録した団体もあるが、登録をやめた団体もあるので、登録団体数は昨年度と同様であるため。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	団体の方の高齢化により、団体を続けられなくなるケースが出始めているので、団体を継続してもらう方向で協力し合いながら、登録団体を増やしていく。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	6,689	6,878	7,891	9,646	9,646
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	6,689	6,778	0	0	0
	一般財源	0	100	7,891	9,646	9,646
正職員人工数（時間数）		1,519.00	1,586.00	1,428.00	0.00	0.00
正職員人件費		6,228	6,622	5,859	0	0
トータルコスト		12,917	13,500	13,750	9,646	9,646